

『シャンティ』通巻286号 2016年7月1日発行（1・4・7・10月の1日発行）
1985年6月28日 第二種郵便物承認

Shanti

シャンティ

286 2016年7月
なつ

特集
アフガニスタンは今

- 04 定点観測：アジアから
カンボジア／ラオス／ミャンマー（ビルマ）難民キャンプ／アフガニスタン／ミャンマー
岩手／気仙沼／山元
- 09 特集 アフガニスタンは今
アフガニスタンの歴史と今
図書館員や子どもたちにとっての図書館
アフガニスタン現地職員のやりがいと心あわせ
アフガニスタンが舞台の6つの映画
- 22 世界の絵本を読んでみよう
「素敵な屋敷」民話 アフガニスタン
- 24 シヤンティな人たち
株式会社絨毯ギャラリー 大熊克己
- 39 わたしたちのお祭り
気仙沼 大漁唄い込み
- 30 日本しゃんていな旅 龍谷寺
- 31 おしらせ／編集後記
- 32 道 「ミャンマーの平和」
理事 岡本和幸

私たちの美しい国、私たちの愛する国

この川も、この地も、春も、山も、全てが愛しい

この国は私たちの悲しみを癒し、心を解放してくれる

私たちの体の一部 アフガニスタン

（「私たちの美しい国」より）

ナンガハール州で生まれたこの歌には、

国をこよなく愛する人々の気持ちが込められています。

2001年、食糧支援から始まったシヤンティの

アフガニスタンでの活動は15年目を迎えます。

「私たちの活動は子どもたちが教育を受ける機会を作り、

やがてその教育を受けた子どもたちが

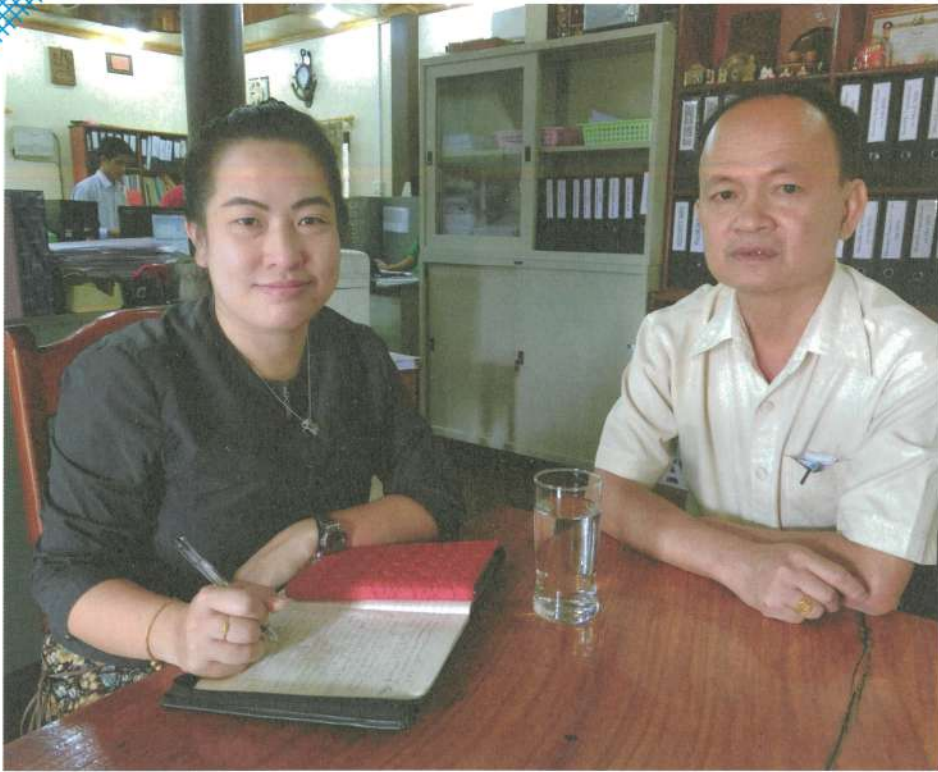
アフガニスタンの平和を築いていくと信じています。

教育は必ずや平和に繋がります。」

治安が悪化の一途をたどる中、

平和を願い活動を続けるシヤンティの

思いをお届けします。



人を育てる ～教員の能力強化

ラオス Laos

報告：ブッタナリー・タマミサイ（ラオス事務所）

ルアンパバーン教員養成学校のブンチャンさんは、指導者を育成する立場としてシヤンテイの事業に深く関わっています。シヤンテイの印象を聞いてみると、「まず仕事のスケジュールが明確ですね。あと、シヤンテイの事業はヴィエンカム郡の実情にとても合っているし、いつも教員のそばに寄り添って彼らの能力を伸ばそうとしているのが強く伝わってきます。」との答えが返ってきました。

続けて、「指導者を育成するトレーニングの手法や、人を育てるための工夫や知識を新たに学びました。シヤンテイを通じて、かつての自分の教え子がヴィエンカム郡で教鞭をとる姿を観察する機会がありました。教鞭をとる姿を観察する機会がまだ上手に作られていないことがわかりました。教員養成学校での自分自身の授業を見直す良いきっかけとなりました。」と話してくれました。

技術能力の高い人材を育て、その人が同じ地域の教員を助け、地域の教育が改善されていく。そんな事業をこれからも続けていきたいと思っています。

写真右がブンチャン・ヴァンタマリーさん。左はインタビューをしたブッタナリー・タマミサイ



カンボジア「国民読書の日」制定 ～読書習慣と文化の発展を願って

報告：フーン・ソティアロアット（カンボジア事務所）

Cambodia カンボジア

カンボジア政府は、読書習慣の推進やカンボジア文化の保存と発展を目指し、3月11日を「国民読書の日」に制定しました。その第1回目を祝う式典が王立プノンペン大学で開催され、中央省庁や州の政府関係者、大学教授や学生、国際機関の関係者など計1883人が参列しました。

式典では教育大臣によるスピーチ、学生や大学教授による詩の朗誦や朗読の他、昨年のおはなし大会で優勝したヨン・ヤニーちゃんによるおはなしの披露も行われました。

3月11日は、カンボジア初の国語辞典の編纂や国歌の作詞などを通じ、カンボジア文化の発展に多大なる貢献をしたチュアン・ナット大僧正の誕生日です。シヤンテイは、ポル・ポト政権による支配や戦乱の中で失われた同辞典の復刻を1983年と1989年に行いました。

かつて文化や教育が否定されたカンボジアで、「国民読書の日」が制定されたことを嬉しく思います。この日が読書習慣の推進、教育の質の向上につながっていくことを願っています。





アフガニスタンにも桜が!?

アフガニスタン **Afghanistan**

報告：伊藤杏子、三宅隆史（アフガニスタン事務所）

シヤンティが校舎建設を支援したカブール市のアブドゥラウフ・ベネワ校とナンガハル州のシャヒド・アダム・カーン校で、学校関係者や児童らによる桜の苗木の植樹式が行われました。桜を贈ったのは、学校の校舎建設をご支援頂いた絨毯ギャラリー（兵庫県神戸市）、さしこう（岡山県津山市）、亀川（広島県福山市）、すぎむら（香川県観音寺市）、松葉屋（長野県長野市）という絨毯や家具のお店の皆さまです。

2010年にシャヒド・アダム・カーン校が、2015年12月にアブドゥラウフ・ベネワ校が完成しましたが、アフガニスタンは治安状況が悪く、日本の外務省は退避を勧告しているため、日本からは完成式典に出席できませんでした。その代わりに桜の苗木が贈られました。

日本から届いたプレートには「日本とアフガニスタンの架け橋として、アフガニスタンの子どもたちが安心して学ぶ事が出来る事を願ひこの桜を贈ります。」というメッセージが刻まれています。

教員や児童は日本から贈られた桜をみんなで大切に育てていくことを誓いました。



図書館員交流活動

報告：ナンタナ・ティンカジョン（BRC事務所）

BRC ミャンマー（ビルマ）難民キャンプ

図書館員同士の交流活動は、ミャンマー（ビルマ）難民キャンプのコミュニティ図書館が実施する活動の1つです。この活動は、普段は別々に働いている図書館員が集まり、日々の活動を実施していくうえで起こる様々な問題を共有し合うと同時に、個々の図書館員が持つ経験や技術を通じて、それらの問題を解決することを目指しています。

この活動は毎月一回、全ての難民キャンプで実施しており、交流活動の内容は、それぞれの図書館の状況に合わせて変えています。メラ難民キャンプで2016年3月に行った交流活動では、図書館担当職員1人と図書館員12人が集まりました。今回は司会進行を図書館担当職員が担い、子どもたちの識字学習を促すことを目的に、カレン語のアルファベットを使ったゲームや、動物や果物などの名前を学ぶゲームなどを図書館員に紹介しました。今回の交流活動を通じて得たこれらのゲームの手法を使って、子どもたちが楽しみながら、識字や読書能力を向上できることを願っています。





ミャンマーに紙芝居の木が植えられました

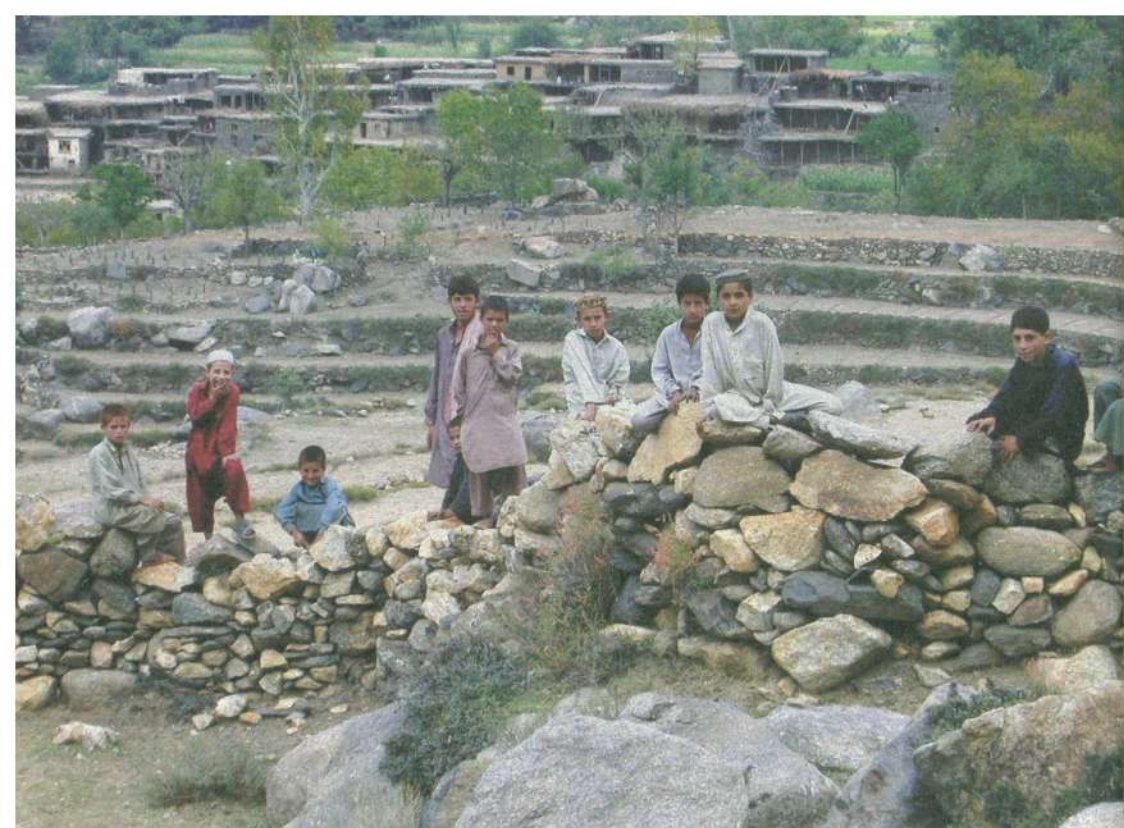
報告：トータ・ソウ（ミャンマー事務所）

Myanmar ミャンマー

2016年3月1日から5日間、絵本・紙芝居作家のやべみつりの先生をお招きし、ヤンゴンにて紙芝居制作研修会を開催しました。参加者はミャンマーのイラストレーターや作家、そして編集者の計20人です。短い時間ながらも5つの紙芝居が完成しました。これらの成果物を活用してもらうため、児童サービスを行っているタヤワディ県とビー県の14の公共図書館に配布しました。作品を目にした図書館職員たちは大喜びで、「絶対に子どもたちが好きになる」と話していました。配布時には、やべ先生から研修会で習った紙芝居の実演方法なども指導しました。

今回、私の国ミャンマーに「紙芝居」の木が植えられました。これまでに見たことがない木です。この大事な木を丁寧に着育て、「紙芝居」の実をミャンマーの子どもたちに届けていきたいと思っています。紙芝居というメディアを通して、「愛情」や「平和」といったメッセージを子どもたちに伝えていきたい。研修会に参加させていただき、強く思いました。

やべみつりの 1942年、岡山県倉敷市生まれ。現在は、各地で造形遊びや紙芝居作りのワークショップを開いている。絵本に『かばさん』（こぐま社）『あかいろくんとびだす』（童心社）などがある。



特集 アフガニスタン

は 今

シャンティがアフガニスタン事務所を開設したのは今から13年前の2003年。今なおニュースでアフガニスタンという国名を見聞きする機会は少なくありません。シャンティが支援を初めてから、アフガニスタンの人々と子どもたちの暮らしはどう変わったのでしょうか。

Afghanistan

国名：アフガニスタン・イスラム共和国
公用語：パシュトゥー語、ダリ語
首都：カブール
面積：652,225km²（日本の約1.7倍）
人口：3,055万人（2013年IMF推定値）
一人当たりGDP：599USドル（2015年IMF推定値）
通貨：アフガニ

アフガニスタンの歴史と今

アフガニスタンの礎

アフガニスタンは「文明の十字路」と呼ばれ、古代から交易の中継点として栄えた。18世紀には初めてアフガニスタン人の王朝が成立し、19世紀以降はイギリス帝国とロシア帝国がアフガニスタンの利権をめぐる政治的抗争、いわゆる「グレートゲーム」が繰り広げられました。二度にわたる戦争の末、イギリス帝国の保護下に置かれ、1919年の第3次英ア戦争を経て独立しました。

1973年に共和制が導入され、1970年代末には共産主義政党によるクーデターが発生し、同年12月、革命を救うとの理由でソ連がアフガニスタンに侵攻しました。ソ連が反ソ派のムジャヒディン（イスラム聖戦士）を攻撃する一方、米国がこれを支援するなど、米ソ連代理戦争へと発展しました。ソ連は兵の犠牲者数が1万人を超えるなど苦戦し、1989年までに撤退しました。

しかし、ソ連の撤退後、アフガニスタンはムジャヒディンとの内戦に突入し、多くの難民がパキスタンなど近隣国へ逃れました。

た。こうした中、急速に勢力を拡大したタリバンが1996年に政権を樹立するに至りました。

2001年以降 タリバン政権の崩壊

2001年9月11日の同時多発テロを実行したとされる国際テロ組織アル・カイダをタリバン政権が援護しているとして、米国主導による軍事作戦が展開され、同年12月にタリバン政権は崩壊しました。

軍事作戦と同時に、タリバン政権崩壊後の暫定政権樹立に向けた調整も進められ、12月には「ボン合意」が成立し、カルザイ議長を中心とする暫定行政機構が発足しました。2004年1月には憲法制定ロヤ・ジルガ（国民大会議）により新憲法が採択され、10月にはアフガニスタン史上初の大統領選挙が行われ、カルザイ大統領が選出されました。2005年9月には新憲法に基づき国会会議選挙が行われ、議会が発足しました。

近年のアフガニスタン

2012年7月には、国際治安支援部隊撤退後の国際社会によるアフガニスタン支



援について話し合う国際会議が東京で開催され、2015年から2024年までの「変革の10年」においても、国際社会が引き続きアフガニスタン支援に関わっていくことが合意されました。具体的には、2012〜2015年の間、国際社会が160億ドルを超える支援を行うこと、アフガニスタンおよび国際社会の相互責任を明確化し、定期的に確認・検証するメカニズム「東京フレームワーク」の創設が合意されました。

2014年の大統領選挙では、大統領を2期務めたカルザイ大統領が退任し、2014年9月21日にガニ元財務大臣が大統領に、対立候補だったアブドラ元外務大臣が行政長官として挙国一致政権の樹立が発表されました。

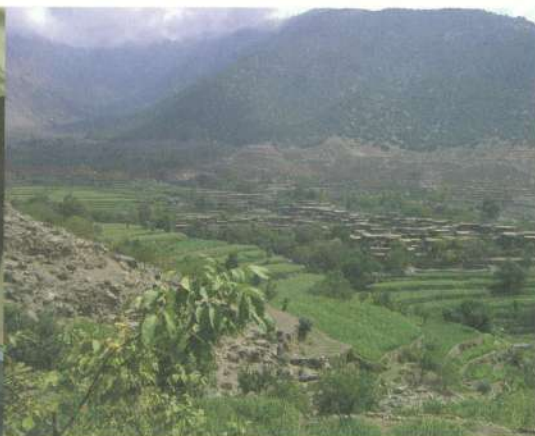
しかし、アフガニスタンの治安は悪化傾向にあり、タリバンや従来の反政府武装勢力に加えて2014年からIS（イスラム国）がアフガニスタンでもテロ活動を始め、タリバンを敵であると言及し、両者間の戦闘も激化しています。国連アフガン支援ミッションによると、2015年上半年の民間の犠牲者は4921人にのぼり、うち死

者1592人、負傷者は3329人と、昨年度上半期と比べて1%増加しました。犠牲者の9割は、戦闘の巻き添えになるか簡易爆弾を使った自爆テロの犠牲になっています。犠牲者のうち1270人は子どもで、320人が死亡、950人が負傷し、昨年の上半期より13%増加しています。

度重なる紛争で破壊された学校

アフガニスタンは1919年の独立後、政府が教育による社会発展を推進しました。しかし、教育を含む急進的な近代化政策への反発から乱が起こり、一時、近代的な学校がすべて閉鎖されました。1929年のナディール・シャー国王即位後、学校は再開され、1931年に発布された憲法では、政府の責任においてすべての子どもに初等教育を与えることが明記されました。しかし、アフガニスタンの教育開発はなかなか進まず、1975年の15歳以上で読み書きのできない人の割合である成人非識字率は88%と推定され、60〜70年代の小学校就学者の平均年間増加率は13%にとどまりました。

その後、1979年末からのソ連の侵攻、



続く内戦により、多くの学校が破壊されました。米ソの対立は教育の場にも持ち込まれ、例えば算数の教科書に「もし共産主義者の死体が2体あり、さらに3人殺したとしたら、全部で何人の共産主義者の死体がありますか」といった戦争に関するメッセージが含まれました。タリバン時代には、女性教員の就労が禁じられ、女子の就学も原則禁止されました。

タリバン政権崩壊後の教育事情

2001年末にタリバン政権が崩壊し、暫定政権が樹立した後は、国際社会の支援で教育の復興が推し進められました。2002年、アフガニスタン教育省がユニセフの支援で実施した「バック・トゥ・スクール・キャンペーン」で就学者数は2000年時点の約90万人から2013年には約1050万人と1倍以上に激増しました。普通教育の学校数は、2002年の6039校から、2012年には1万5154校に増加しました。

しかし、2013年時点の純就学率は72%（男子82% 女子61%）と低く、不就学就学年齢児童数は330万人（75%が女子）

もいるなど依然として課題は山積みです。また、全学校の半数は校舎がなく、テントや野外での学習を強いられています。高等教育を受けた教員のうち特に女性教員が不足し、教員の68%は教員資格を持っていません。

学校が反政府武装勢力のターゲットに

2014～2015年度、73の学校が簡易爆弾などによる攻撃を受け、子ども11人が死亡し、46人が負傷するなど、学校が反政府武装勢力のターゲットとなっています。教員も15人が殺害され、10人が誘拐されました。2015年8月にはカブールからカンドハルへ教科書を輸送中のトラックがタリバンに襲撃され、数万冊の教科書が焼き捨てられました。

2013年には539校が一時的、もしくは常時閉校に追い込まれ、およそ11万5000人の子どもたちに影響を与えました。シヤンティの支援対象地域であるカブール州やナンガル州でも、女子校の閉鎖や女子の就学をやめさせるよう脅迫状が届いたり、登校中の女子が酸をかけられたり、教育に対する妨害行為が行われています。

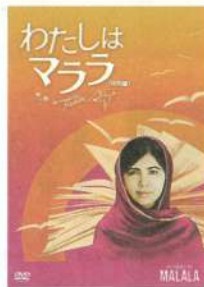
MOVIE GUIDE

アフガニスタンが 舞台の6つの映画



華氏911

2001年9月11日に発生したテロ事件の犯人を捕まえるため、ブッシュ政権はアルカイダが潜伏していると言われるアフガニスタンを攻撃した。一連のブッシュ政権の行動に疑問を抱いたマイケル・ムーア監督が様々な角度から真相を明らかにしていく。(2004年)



わたしはマララ

2014年、当時17歳だったマララ・ユスフザイはノーベル平和賞を受賞し、一夜で時の人となった。15歳で銃撃され瀕死の重傷を負った彼女は、なぜ命の危険に晒されながらも活動を続けるのか？世界を変えた“ふつうの女の子”の知られざる物語。(2015年)



君のためなら千回でも

まだ平和だった1970年代アフガニスタンで少年時代を過ごした親友との絆を描いた映画。ソ連軍によるアフガン侵攻によって離ればなれになってしまった親友に会うため、タリバン政権下となった戦禍の故郷へ危険な旅に出る。(2007年)



子供の情景

アフガニスタンのパルミヤンが舞台。6歳の女の子バクタイは、隣人の男の子の影響で、学校に行きたくなった。町へ出て卵を売って、やっとの思いでノートに手に入れたバクタイは意気揚々と学校に向かうが…。ベルリンなど世界中の映画祭で高い評価を受けた作品。(2007年)



おやすみなさいを言いたくて

報道写真家のレベッカは、アフガニスタンでの取材中、生死にかかわる事故にあう。アイルランドで暮らす夫と娘のもとへ帰国したレベッカは、離れ離れの生活に疲れ果てた夫と、思春期の長女の本当の気持ちを知る。報道写真家としての使命を選ぶのか、愛する家族との生活を選ぶのか。(2013年)



大いなる陰謀

ロバート・レッドフォード、メル・ストリープ、トム・クルーズなどが出演するアメリカの対テロ政策の裏を描く群像ドラマ。政治家とジャーナリストによる駆け引きやアフガニスタン山中で生き残りを賭けた壮絶な戦いが繰り広げられる。戦争や生死の意味という根源的なテーマを扱った作品。(2007年)



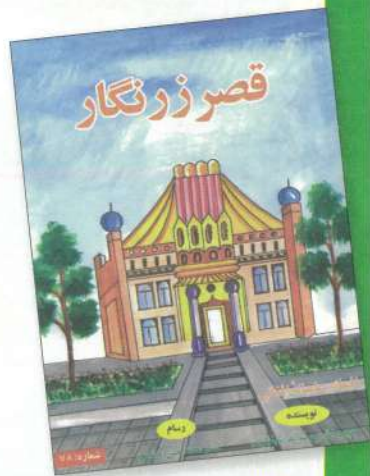
2010年に当会が校舎建設を支援したナンガハル州のランディバサウル小学校で完成したばかりの校舎に初めて入る子どもたち

なぜシャンティの 建てた学校は 反政府武装勢力から 攻撃されて こなかったのか

アフガニスタン事務所長
三宅隆史

シャンティが活動しているアフガニスタンのナンガハル州では、2009年にフランスのNGOが建設支援した学校の贈呈式で自爆テロが起き、先生や児童が死亡・負傷しました。フランス政府はアフガニスタンに軍隊を派遣しているため、反政府武装勢力はフランス軍と比べて狙いやすいNGOと彼らが支援した学校を攻撃対象にしたのです。学校は選挙の投票所として使われることも多く、農村地域

では唯一の公共施設であることからターゲットにされやすいのです。アフガニスタンでは現在539校が放火や攻撃によって閉鎖されています。シャンティは、ナンガハル州で2003年から2015年までに37校の校舎を建設しましたが、攻撃を受けたことはありません。しかし一度だけ、建設中の学校に武装した反政府勢力が夜間偵察に来たことがありました。彼らは建設資材を警備していた村人に「この学校はどこからの支援で建設されているのか」と聞きました。村人が「この学校は日本の支援で建てられている」と答えると、反政府勢力は「わかった」と言って帰っていき、その後も何もおきませんでした。彼らが日本のNGOであるシャンティが支援する学校を攻撃しなかったのは、日本が自衛隊(彼らにとっては軍隊)を派遣してこなかったからです。



世界の絵本を読んでみよう

14

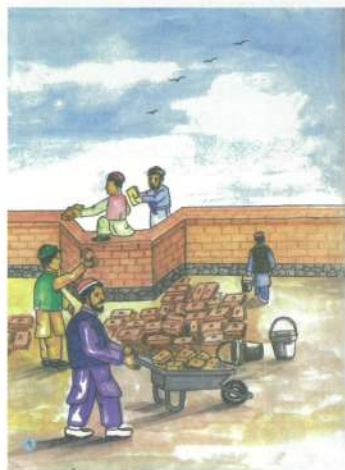
アフガニスタン
民話絵本 2014年

素敵な屋敷

2 王様は有名な建築士や技術者を他の国から招き、図面を描かせました。王様はその図面に満足して、土台の石を置く特別な儀式を行い、建設工事が始まりました。



1 むかし、あるところに王様がいました。王様は、大切なお妃様のために、今まで見たことのないような素敵な屋敷を建ててあげることになりました。



3 10年後、屋敷の工事が終わり、王様はオープンセレモニーを行いました。政治家や大臣など国中の様々な人が参加し、王様は招待客全員に、この素敵な屋敷について意見を言うよう求めました。人びとは一斉に、この屋敷の美しさをほめました。ああおべっか使いの大臣はこう言いました。「親愛なる王様、この素敵な屋敷はこの国すべての人の誇りです」。



5 満足した王様は、お妃様が来る前に、学校の子どもたちも招いて、屋敷を見せました。

ところが、ある子どもが言ったのです。「王様、この屋敷は見たこともないくらい素敵ですが、一つ大きな欠点があります」。王様は驚き、怒りながらその子どもにたずねました。「欠点とはいったい何だ？」



6 「この屋敷は国のお金で造られましたが、お金は国の発展のために使われるべきです。国民のためになる事業を行うことで、王様は人びとの心にずっと存在し続けます。王様が将来天国に行くときは、人びとはその死を悲しみ、王様のことを心に刻んで忘れないでしょう」。

7 「大臣は王様にいい助言はしてくれませんが、嘘ばかりついていきます。率直な子どもの意見を聞いて、王様の目には涙があふれました。王様は、真実を教えてくれた勇氣に感謝して、この子どもに贈り物を渡し、ほおにキスをしました」。



8 それ以降、王様は国と国民のことを考えて事業を行うようになりました。

シャンティな人たち

vol. 73

大熊克己
おおくま・かつみ
株式会社絨毯ギャラリー

株式会社絨毯ギャラリーは、1976年に日本ではじめてのベルシア絨毯の専門店として創業した会社です。絨毯を輸入する会社として、絨毯を作る国の人たちの役に立ちたいと考え、絨毯を販売して得た利益の一部を現地の教育支援に還元する取り組みを始められた大熊克己さんにお話を伺いました。



アフガニスタンへの支援は、2002年4月に会社を大阪から神戸へ移転しようとした際、当時アフガニスタンが大変な目にあっていることを知り、何人々の役に立ちたいと夫婦で一緒に考えたのが最初のきっかけでした。

アフガニスタンで作った絨毯を日本に仕入れて販売すれば、現地で特に女性の雇用を増やせて、利益の一部を現地の教育支援に還元すれば「絨毯1枚で二度の支援」ができると考えたそう

す。その取り組みが朝日新聞や毎日新聞で取り上げられると、翌朝店頭へ客が殺到し、売り上げは1億を超えました。売り上げの10%を当時大阪にあったNPOアジアボランティアセンターに寄付し、その後、同業他社にも波及して様々な人が参加して、継続的に寄付するようになりました。

設に寄付をしたこともありまして。ある時、カブールで井戸を掘ったり、看護師をしている若者たちの姿を目にして、今度は若者支援をしようと思いましたが、そこで学校建設をはじめ教育分野で活動しているシャンティと出会ったわけです。それから、長年仕事でお付き合いのある絨毯関係者に声をかけ、アフガニスタンでの学校建設を実現しました。



大熊さんがアフガニスタンに訪問したときの写真

「儲けがなければ、継続した社会貢献活動はできません。絨毯が売れることでチャリティが果たできると思っています」と語る大熊さん。

「しっかりと勉強して、国や世界に貢献できるように」とアフガニスタンの子どもたちにエールを贈ってくださいました。

(海外事業課 伊藤杏子)



移動図書館車、次の役割へ

報告：三木真牙（岩手事務所）

岩手 Japan

移動図書館車は岩手の活動に不可欠な存在です。約1500冊の本を積める移動図書館車は、天候に左右されることなく、利用者の方に自由に本を選んでいただくことが出来ます。2012年に納車された移動図書館車は、「黄色いバス」として利用者の方に親しまれてきました。

岩手のシンボルであった移動図書館車の活動が収束を迎えるにあたり、移動図書館車の新しい活躍の場を探すことになりました。そんな図書館車の受け入れに名乗りを挙げてくれたのが、岩手県内陸部の遠野市立図書館です。遠野市は岩手事務所を開設した縁のある場所で、移動図書館の寄贈という恩返しが出来ました。

寄贈された図書館車は、公募で寄せられた名前の中から、市の花に由来した「やまゆり号」と名付けられ、遠野市内の小中学校や施設を巡回しています。遠野市の本多市長からは「シャントイの被災地での想いをしっかりと受け継いでいきたい。」とお言葉を頂きました。

私たちの思い出がたくさん詰まった移動図書館車が今日も走り、新しく活躍していることをうれしく思います。



これまでのご支援、ありがとうございました！ ～地域の皆さんと共に

Japan 気仙沼

報告：白鳥孝太（気仙沼事務所）

「東日本大震災」をきっかけに始まった宮城県気仙沼市での活動は、2016年5月で収束しました。おかげさまで5年間、大きな事故に遭う事もなく、無事に事務所の閉所を迎えました。これまでのご支援、まことにありがとうございました。

震災当初の避難所支援から始まり、仮設住宅や地域で人々が集う「場づくり」の活動へと発展しました。2014年頃から「子ども支援」や「漁業支援」、「まちづくり支援」に携わってきましたが、徐々に地元の方が活動の中心となっていただくことを受け、気仙沼事務所による直接的な支援の終了を決めました。

子どもの自然体験「あつまれ、浜わらす」はNPO法人となり活動は継続され、漁村の活性化に取り組んできた漁師グループ「蔵内之芽組」と「海の駅よりみち」も法人化を目標に、ワカメやホタテの養殖に励んでいます。「階上地区まちづくり協議会」と「つむぎの会」（震災遺族の会）も地域の人たちによって継続されていきます。地元の方々による復興の取り組みを、今後も見守って頂ければ幸いです。



岩手・山元両事務所の「移動図書館」が南相馬へ
報告：古賀東彦（山元事務所）
山元 Japan

2016年5月、南相馬市立図書館による移動図書館活動が始まりました。南相馬で使われる図書館車は、シャンティ岩手事務所が使用していたものです。2016年2月に南相馬市に寄贈し、「いわてを走る」の文字も「南相馬を走る」に変わっています。市の移動図書館の中心メンバー、市立図書館の高橋将人さんと齋藤千夏さんは、2015年5月から、シャンティ山元事務所の移動図書館を交代でほぼ毎回手伝いに来てくださいました。南相馬市内の仮設団地を共に回った「仲間」であり、図書館員としての知識や経験を持つ、とても心強い存在です。

今後シャンティは、仮設団地への訪問を続け、市の図書館車は災害公営住宅や保育園などを含め、市民の希望に応えながら巡回する予定です。高橋さんと齋藤さんは「図書館から外に飛び出して、新たな方たちとお話するのが楽しみ」、「移動図書館が来るのが当たり前と思われるくらいに回りたい」と話してくれました。シャンティが大切にしてきた移動図書館のひとつ息づける場づくりが受け継がれ、広がっていくのが楽しみです。

わたしたちの お祭り

気仙沼
大漁唄い込み



上：櫓を船床に打って唄う「大漁唄い込み」の様子 下：前浜マリンセンターで唄や踊りを披露。大漁旗。

気仙沼事務所の畠山です。
「へんやーえー、へんやーえー」、
「よいいどころさあ、よいいどころさあ」お祭りや結婚式などのおめでたい時に、このかけ声がよく聞こえます。これは「大漁唄い込み」のかけ声です。昔、漁業を行っていた人たちは、大漁だったとき、船に大漁旗を掲げ、沖から陸に帰りながら、櫓（かじ）を立ててドンドンと船床を打って唄をうたいました。通信機器のない時代、陸で待っている人たちに早く「大漁だー」と伝えるために唄われていました。今でも「大漁唄い込み」は、いくつかの地域で唄われています。

私が住んでいる大谷地区には、「大谷大漁唄い込み保存会」があります。元気なお母さん方とお父さん方が中心となり、パワフルな唄や踊りの演技、海で暮らす人びとの力強さを他世代や国内外問わず、多くの人に伝えているものになっています。

シャンティからのお知らせ

【熊本地震】地元NPOと連携して被災者支援を行っています

2016年4月14日以降に発生した熊本県を震源とする地震において、現地に職員を派遣して支援活動を行っています。

熊本県玉名市にある「れんげ国際ボランティア会(ARTIC)」と連携し、熊本市内の避難所で炊き出しや食材配布を行いました。

5月7日までに延べ38ヶ所の避難所で野菜たっぷりの温かい汁物とおにぎりの炊き出しを、延べ11ヶ所の避難所へ新鮮な野菜を含む食材配布を実施。避難所生活が長くなるにつれ野菜不足が続くなか、地元の野菜を多く用いた炊き出しは大変喜ばれました。

避難所での生活は、日中の暑さや避難生活の長期化により身体的な疲労からくるさまざまな病気が懸念されます。余震が怖いから家の片付けができない、家が壊れて帰るところがないなど、避難の理由はさまざまですが、一様に落ち着かない気持ちや将来の生活への不安を抱えている方がいます。

不自由な生活を余儀なくされている方々に対し、食事の提供や足湯、サロン活動などを通じて少しでも支えになり、被災者の声に耳を傾け、課題となることは行政や専門家につなぐことで解決や改善をはかる取り組みを7月末まで続けていく予定です。



人事のお知らせ

●入職

- 小林裕司(契約職員) 経理総務課 IT担当(3月8日付)
- 高橋光一郎(契約職員) 海外事業課 企画・調査担当(4月11日付)
- 沼田安宏(契約職員) 広報課 広報担当(4月18日付)

●退職

- 笠井俊一(契約職員) 緊急救援担当(4月30日付)
- 高橋光一郎(契約職員) 海外事業課 企画・調査担当(5月10日付)
- 畠山友美子(契約職員) 気仙沼事務所 総務・経理及び事業担当(4月30日付)
- 笠原一城(契約職員) 気仙沼事務所 プロジェクト担当(5月31日付)

●雇用形態変更

- 瀧龍太郎(契約職員) 海外事業課 経理担当(4月1日付)

編集後記

みなさん初めまして。2016年4月より広報課に入りました沼田(メスダ)と申します。今回から「シャンティ」の編集を担当することになりました。

「沼田」という名前のルーツは長野県にあります。NHK大河ドラマ「真田丸」の舞台である上田市から松本市へ向かう国道沿いに、沼田という地域があり、その昔、高位な方が訪れ、土地の風景を「お気に召すた」という由来があります(諸説あり)。

前任の後を継ぎ、シャンティの活動を分かりやすく、楽しくお届けしてまいりますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。(沼田安宏)

シャンティ 2016年夏 286号

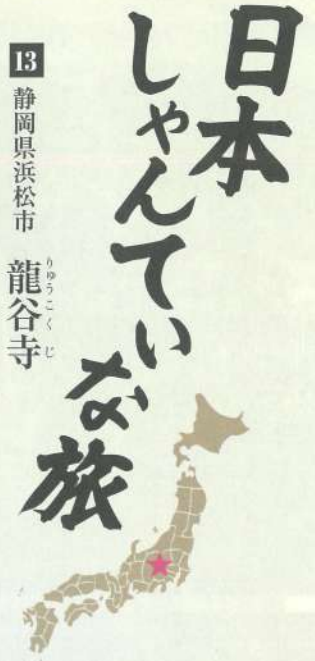
2016年7月1日発行

発行人 若林恭英
 発行所 公益社団法人シャンティ国際ボランティア会
 〒160-0015東京都新宿区大塚町31 慈母会館2・3階
 TEL 03-5360-1233 FAX 03-5360-1220
 WEB: http://www.sva.or.jp E-Mail: info@sva.or.jp
 郵便振替 00150-9-61724

編集人 関尚士
 装丁・レイアウト 矢萩多聞
 印刷 株式会社大川印刷 [定価550円]

©2016. Shanti Volunteer Association. All Rights Reserved. Printed in Japan.

●当会へのご寄付は、所得税、住民税および法人税、相続税の優遇措置が受けられます。



静岡県浜松市 龍谷寺



①龍谷寺の境内全景 ②金色の涅槃像が安置されている涅槃堂 ③山門の前に設置された書き損じハガキポスト

- 龍谷寺 静岡県浜松市南区飯田町628-1
- アクセス 東海道新幹線「浜松駅」下車(車で15分)
- 周辺のみどころ 「浜松城」(龍谷寺より車で15分) 「浜松市楽器博物館」(龍谷寺より車で10分)



シャンティ理事の笹岡賢司住職の龍谷寺は、浜松市内からほど近く、新幹線の南側座席からお寺を一瞬拝むことができます。山門の前には住職手作りの書き損じハガキ専用の黄色のポストが目を引き、境内では、本堂に向かって右側に金色の涅槃像が安置されている涅槃堂、左側に薬師如来を祀る薬師堂が参拝者を迎えてくれます。

笹岡住職は、最後のカンボジア難民キャンプ時代に丹羽耕健(元代議員・旧姓・野村)師に就いて「二本百円の本を植える運動・十木会」に参加。後に「愚

労軽塾」として農村開発、植林活動、風力発電、井戸掘り等の研修活動を行ってききました。

ボランティア活動の基本は「まず現場で汗をかくこと」と、師に教授されたことをあつく語ります。

現在、龍谷寺は「絵本を届ける運動」に参加しています。小さな支援が集まって絵本を作り上げる現場を一人でも多くの人が知り、活動に参加して欲しいと住職は言います。この思いは、何度も東南アジアの現地へ足を運び、現地の方々に寄り添ってこられたからこそかもしれません。

リサイクル適性 (A) この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。

GREEN PRINTING J-PP1 P-B10164

FSC ミックス 責任ある木質資源を使用した紙 FSC® C009309

VOC FREE™

「シャンティ」は、FSC®森林認証紙にノンVOCインキ(石油系溶剤0%)で印刷しています。

道

ミャンマーの平和

理事 岡本和幸

13年ぶりに、ミャンマーに行ってきた。民主化が進み、

国際化が進行している印象の同国ですが、未だ民族間の紛争が続き、大勢の孤児が生まれています。そんな孤児たちを十年ほど前から保護しているヤダナミンズリ孤児院の女子寮の贈呈式に出席してきました。この施設は10年ほど前、尼僧であるドーナテイリ師が発願され、現在257人の孤児が収容されています。

孤児院や併設の寺院学校の運営費まで含め、すべて布施で賄われています。戦火の中で逃げ惑い、地域の寺院に保護され、この施設へやってきた子どもたちが、トタン屋根に竹で編んだ壁、土間あるいは糞の子の



シャンティ(平和)な

世の中を実現するためには、お互いの人権と文化を尊重し合える人材の育成が不可欠。

床で暮らす様子を目の当たりにし、さらには絵本を食るように読む子どもたちの真剣な目と、その思いに十分に応えられない絵本の少なさを実感し、さらなる援助の必要性を痛感しました。

施設では標準語としてビルマ語が用いられていますが、師は地方から集まってくる子どもたちに、自身の出身民族の言葉を使うよう指導しています。子どもたちが出身民族の文化に誇りを持ちつつ、互いの文化的背景を尊重するよう配慮されていることに非常に感銘をおぼえました。

私は1994年に「慈愛の衣類運動」スタディツアーに参加しました。衣類を求めて大勢の人がジャングルから湧くように現れ、すさまじい熱気を感じさせながらも、整然と衣類を受け取り、嬉しそうに帰って行く姿

が今なお忘れられません。にもかかわらず「慈愛の衣類運動」は、この年をもって終了しました。それは虐殺により、自身の依って立つクメール文化を再構築しなければならぬカンボジアの人びとに衣類を提供し続けたいとの配慮によるものでした。本会は物資ではなく、カンボジアの人権、文化の尊重と、それを大切にできる人材の育成を活動の柱としてきました。

カンボジアと平和は実に長い時間と膨大な^{多大な}労力を要し成し遂げられました。同様に多民族国家ミャンマーが、シャンティ(平和)な世の中を実現するためには、お互いの人権と文化を尊重し合える人材の育成が不可欠であろうと思います。ミャンマーで本会ができることが沢山あると感じた今回の旅でした。